



保護者会通信

2013年(平成25年)3月1日 No.8

編集・発行
京都ノートルダム女子大学
保護者会事務局

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々町1
TEL:075-706-3728 FAX:075-706-3707
e-mail: hogoshakai@notredame.ac.jp



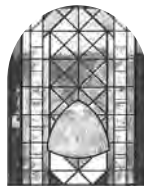
学長挨拶
京都ノートルダム女子大学
学長
保護者会名誉会長
藪内 稔

この度、平成25年3月31日をもって、平成21年4月からの四年間の任期を終え、学長を退任いたします。その間、京都ノートルダム女子大学保護者会及び会員の皆様には、本学の発展のために、様々な形でのご支援と行き届いたご配慮を賜り、心より感謝申し上げます。

平成21年度から平成24年度にかけて「施設助成」として、学内花壇整備、テニスコート整備費など、「設備助成」として学生貸出し用ノートパソコン、プリンター、プロジェクター、図書館生用書籍、AED、テント天幕、式典用絨毯など、「課外活動助成」として、各クラブ活動補助、ボランティア活動補助、ボランティア支援活動助成など、「卒業記念品」、「学生行事」として、ND祭補助、クリスマスイルミネーション、クラブ定期活動補助など、「学生支援助成」として、保護者会奨励奨学金、就職ガイドブックなど、その他、バザー収入をいただき、平成23年12月に創立50周年を迎えるにあたって、北山キャンパス総合整備計画を周年事業の中心に位置付けましたが、そのための募金事

業に対して、保護者会、保護者の皆様から多大のご支援をいただきました。このような温かいご支援とご恩に対して、少しでもお応えできるよう、大学教職員一同、心を新たに大学のさらなる発展とより一層充実した教育実現に取り組みていきたいと思います。

この間、会長を務められました木村登美子様、野口政男様、北村茂樹様はじめ、役員の皆様、保護者会の皆様に、あらためて厚く御礼を申し上げます。



平成25年3月31日付で学長・保護者会会長が退任されます



会長挨拶
京都ノートルダム女子大学
保護者会会長
北村 茂樹

いたしました。またもう一つは京都ノートルダム女子大学創立50周年の節目の年を会長として迎えた事です。保護者会として50周年記念事業にどう取り組むかは何度も保護者会理事会メンバーと打ち合わせ、藪内学長様、下地事務局長様とも協議してまいり、大学が伝統に基づいた魅力ある女子大学にかかわり、教育・研究環境を整えるため、京都ノートルダム女子大学創立50周年記念事業「北山キャンパス総合整備計画」を打ち出されておりましたので、最後は私の発案でお茶室整備事業に決まりました。そして、茶道裏千家16代坐忘斎千宗室御家元様にお願ひ申し

早いもので西村元副会長からの誘いで保護者会の評議員を暫くの間お引き受けし、野口元会長から会長職を引き継ぎ、評議員、会長の任期が娘の卒業と共に完了いたします。

保護者の皆様、評議員の皆様、藪内学長様、下地事務局長様のご指導、ご協力により四年間の任期を務められましたことにまずもって心より御礼申し上げます。

会長在任中には重大な二つの事柄がございます。一つは2011年3月11日に起こった東日本大震災です。阪神淡路大震災を

経験した者にも、想像を絶した大津波が押し寄せ、大災害となりました。またその後起こった原子力発電所の放射能問題等二年経過した現在でも復興の過程が目に見えて進んでいないことに心を悩まします。その中で、京都ノートルダム女子大学の教員・学生が被災地に赴きボランティアとして活動していただいたことに、また引き続きボランティア活動を継続していただきますこと感謝申し上げます。そして次年度保護者会役員とボランティア活動をバックアップして行く事の再確認を

経験した者にも、想像を絶した大津波が押し寄せ、大災害となりました。またその後起こった原子力発電所の放射能問題等二年経過した現在でも復興の過程が目に見えて進んでいないことに心を悩まします。その中で、京都ノートルダム女子大学の教員・学生が被災地に赴きボランティアとして活動していただいたことに、また引き続きボランティア活動を継続していただきますこと感謝申し上げます。そして次年度保護者会役員とボランティア活動をバックアップして行く事の再確認を

平成25年度 総会・地区教育懇談会開催のお知らせ

左記の日程で開催予定です。どうぞ今から予定ください。多くの方々のご出席をお願いいたします。

総会
平成25年6月16日(日)
懇談会終了後、教育懇談会を行います。

地区教育懇談会
日程
平成25年10月5日(土)
場所
京都会場(本学)
日程
平成25年10月6日(日)
場所未定

次期学長に芹田健太郎氏 愛知学院大学法科大学院教授が選出されました。

任期
平成25年4月1日
から
平成29年3月31日
略歴
昭和16年3月10日、旧満州生まれ
京都大学法学部卒
神戸大学大学院国際協力研究科長等を経て、2005年より愛知学院大学大学院法務研究科教授、同研究科長、専門分野
国際法・国際人権法



北山キャンパス総合整備計画の進捗状況について

北山キャンパス整備計画は皆様のご協力により、着実に進展しているところでありますが、平成24年7月末にユージニア館(北側棟)の解体工事を行い、その跡地において同年8月末までに埋蔵文化財発掘調査を実施しました。その後、同年9月19日には新本館の起工式が執り行われ、新設工事が始まりましたが、新本館の建設予定地での掘削土搬出に関わる土壌環境調査において、自然由来と推定される環境基準値をわずかに超える物質が検出されました。極めて微量とはいえ、万全なキャンパス環境の確保を最優先とするため、京都市との調整・指導を踏まえつつ、慎重かつ徹底的な調査と環境対策工事を行うなど必要な措置を取り進めました。これらの一連の対応により、新本館の完成は、平成25年9月の竣工予定から、約5ヶ月遅れ、平成26年2月末頃となる見込みとなりました。このため、平成24年12月5日付文書により、保護者の皆様にこれらの状況をお知らせするとともに、ご理解とご協力をお願い申し上げた次第です。現在、工事は再開され順調に進められております(工事進捗率3.5%)が、関係者一丸となり、万全な対策を講じつつ、極力早い時期の完成を目指し、工事を進めておりますので、今後とも、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



順次改修していきます。前回の保護者会通信(No.7)

今後の工事計画としては、現ユージニア館のほぼ北側に新本館を建て、続いてソフィア館、テレジア館、ユージニア館別館を



際教育センター、情報演習室(3室)、小教室(3室)、そして3階には聖堂、シスターズラウンジ、ギャラリー兼カトリック自習スペース、カトリック教育センター、講義室(大・中)、中・小教室(9室)が配置されます。このように整備される新館は、京都の北山という立地を生かし、祈りの空間と学びの空間が共存することで、本学の教育理念・モットーである「徳と知」を体現する建物として完成が期待されます。

新館完成後は、ソフィア館の耐震補強・全面改修工事(平成26年4月~26年9月)が行われますが、地下1階に美術室兼書道室、教室(3室)を置き、1階は学生

厚生事務部門のフロアとしてキャリアセンター、保健室、学生相談室、教務・学事課、学生課、学生スタディールーム等を配置します。また、2階は管理部門のフロアとして、学長室、副学長室、事務局長室、総務課、経理課、企画調整課、入試課、広報課の事務室・会議室等を置くとともに理事長室、法人事務局長室及び法人事務局を取り込むこととしております。さらに3階以上には講義室や教員研究室が置かれる予定です。

ソフィア館耐震補強・全面改修工後は、テレジア館・ユージニア館別館・ユニソン会館の部分改修(26年11月~27年1月)が行われますが、テレジア館は1~2階が特別教室、3階がスタジオや講義室、4階が教員研究室となります。また、特別教室は従来の調理室、食品実験室などの他に、社会福祉士、保育士などをめざす学生のための特別教室の他、建築やインテリア、アパレル関係の学習に集中できる環境が整備されます。単に教室があるというだけでなく、照明などを工夫することにより、より良い学びの環境を整えます。また、ユージニア館別館には、音楽室や音楽練習室、理科室などの特別教室や大学院生のためのスタディールームが整備されるなど、大きく生まれ変わる予定です。その後、平成27年2月に現ユージニア館残存部分(南側棟)解体工事を終え、同年3月に外構工事の終了により、本学の創立50周年記念事業である北山キャンパス総合整備計画が完了します。今後とも、保護者会の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

事務局長 下地 隆

図書館のご案内

保護者会の皆様方には、図書館の運営にご理解、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。保護者会予算により、学生の購入希望図書費の一部を充足し、また就職関係データベースを提供させていただいております。心よりお礼申し上げます。

* 図書館をご利用いただけます。

さて、保護者の皆様には本学の図書館をご利用いただけることをご存知でしょうか。以前に、3年次生の保護者の方が大学祭の時に図書館を覗いてくださり、「利用できることを知らなかった。知っていただくと利用したのに、2年間損をしてしまいましたね。」とその場で利用申請をしていただいたことがあります。あらためてご案内申し上げます、皆様のご利用をお待ちする次第です。

* ご利用いただけるサービスは

図書館資料の閲覧、貸出、複写、その他レファレンスです。

貸出期間・冊数は次の通りです。

	貸出冊数	貸出期間
一般図書	3冊まで	2週間
軽読書	無制限	2週間

まずは図書館利用証を交付します。身分証明書をお持ちください。

* 本学図書館の資料の特徴

本学の教育・研究に根差した専門分野の特色ある蔵書と、全般的あるいは教養的な資料を含むバランスのよい蔵書を形成することを目指しています。やはりカトリック関係資料は他の大学に比して多く、また京都関係図書も意識的に収集されています。

ユニークなコレクションとしては、近年は16世紀以降のヨーロッパ文化を紐解く資料の収集に努めています。中には貸出をお断りしている貴重資料もありますが、こちらは展示などでご紹介いたします。

公共図書館に比べ学術資料が中心となりますが、充実した学生生活を過ごすことができるよう、現代小説やエッセイ、実用書、旅行ガイドブックなどの軽い読物(軽読書)も備えています。

これら図書約21万冊、雑誌4,600タイトル、視聴覚資料5,000点の蔵書はOPAC(おぼく・Online Public Access Catalog・オンライン蔵書目録のこと)で、学内外から検索することができます。

* ご来館できない利用者の皆様に

郵送貸出を実施しています。送料は実費をいただきますが、貸出・返却ともに郵送で行うことが可能です。

* リポジトリの公開

リポジトリ(repository)とは「倉庫、収納庫、宝庫」を意味する英語で、本学の刊行物や論文、教材など、本

学において生産された教育研究成果をインターネット上に無料で公開しています。愛称は「のあ」(NOAH: Notre Dame Academic Heritage)。例えば、シスター・テレサ・マーガレットが書かれた「パーティのよろこび」や「調理のよろこび」などユニークな図書も公開されています。

* 図書館のホームページをご覧ください。

以上ご紹介しましたサービスは図書館のホームページにもご案内しております。



開館カレンダーもご確認いただけます。

URL: <https://nais.notredame.ac.jp/lib/>

* 人それぞれの生涯の1冊が見つかりますように。

お問い合わせ先:

京都ノートルダム女子大学学術情報センター図書館

TEL: 075-706-3751 FAX: 075-706-3752

E-mail: library@notredame.ac.jp

平成24年度 地区教育懇談会報告

平成24年度地区教育懇談会を大学との共催により、京都、名古屋の二会場で開催しました。

◆ 京都会場
(京都ノートルダム女子大学)
日時 平成24年10月6日(土)
13時30分~16時00分
下地隆事務局長による開会の辞にはじまり、葺内稔学長、北村茂樹保護



京都会場

者会会長の挨拶の後、それぞれの教室に分かれ、各学部・学科の教員および事務担当者が成績・修学、学生生活、就職等の個別相談に応じました。参加者は27名でした。



名古屋会場

◆ 名古屋会場
(名鉄ランドホテル)
日時 平成24年10月7日(日)
14時00分~16時00分
ご出席いただいた保護者の皆様との懇談会のおと、教職員が個別相談に応じました。参加者は6名でした。アンケートで、「学校での生活が見て取れる一日で有意義でした」、「担任との話で学校での子どもの

様子がよくわかり、よかった」などのご意見を頂戴しました。

平成24年度 保護者会による支援

10月27日・28日 ND祭バザー開催

本年度も第7回目となる保護者会主催によるバザーを、盛況のうちに終える事が出来ました。皆様方からは寄贈品を賜り、多くの方々にお買い物をいただきました。事前準備から最後の片付けまで、ご尽力いただきました関係者の方々にも、紙面をお借りいたしました。厚く御礼申し上げます。

バザー実行委員長 辻中栄里

ND祭バザー収益金贈呈式

本年度のND祭バザーの収益金は二十五万三千九十八円になりました。

この収益金につきましては、前号でもお知らせしたとおり「京都ノートルダム女子大学東日本大震災被災者特別支援制度」で入学した三名の学生に学習支援金として贈呈いただきました(バザー収益金を三名に均等に贈呈)。

昨年12月19日(水)13時より、本学学長室においてバザー収益金の贈呈式を行い、北村茂樹保護者会長から二名の学生に手渡されました(当日欠席の学生一名については、母さんのお父さんやお

お借りいたしました。厚く御礼申し上げます。

バザー実行委員長 辻中栄里

本年1月18日(金)に数回にわたって、北村茂樹学長、辻中栄里副会長、阿部正子監事、河佐佳代子理事にご出席いただき、大学からは数内稔学長、中村久美副学長、下地隆事務局長、大角雅之総務部長が出席しました。

また、北村会長より「遠く故郷を離れ京都の地で頑張っておられる皆さんに、同じ大学に通わせる子どもを持つ親として、何かお役に立てることができればと考えています。本当のお父さんやお母さんによっては、



小林 絵衣子 事務支援室長



辻中栄里

「第12回カトリック女子総合スポーツ競技大会」総合成績で準優勝

平成24年12月1日(土)・2日(日)に、ノートルダム清心女子大学で開催された「第12回カトリック女子総合スポーツ競技大会」で、京都ノートルダム女子大学は総合成績で準優勝を果たしました。大会に参加した硬式庭球部・バスケットボール部・バドミントン部・バレーボール同好会は、5日(水)に本学敷内学長へ準優勝の賞状を手渡し報告しました。



総合成績で準優勝

編集後記

数内学長が、本年3月末をもって退任されます。平成21年4月に就任以来、四年間にわたり本学発展のため大きくご尽力いただきました。特に50周年記念事業のキャンパス整備計画を推進された他、京都工芸繊維大学及び京都府立医科大学との包括協定に基づく連携共同事業をはじめ、高大連携、地域・産学連

卒業記念リング贈呈

毎年、保護者会では、卒業される学部生の皆さんに本学の思い出となる卒業記念リングを贈呈しています。リングはサイズを合わせて作り、イニシャルが入ります。今年も、卒業生に卒業式当日にお渡ししました。

なお、リング贈呈は保護者会費(4年分)を完納している方に限らせていただいております。



卒業記念リング

リングの外側中央に学章の一部に使われているイエス・キリスト(Jesus)と聖母マリア(Maria)の頭文字「JM」と卒業生のイニシャルが、また内側には大学年と卒業年が入ります。

NDクリスマスイルミネーション

平成24年12月3日(月)から平成25年1月6日(日)までの約一ヶ月間をクリスマスシーズンとし、大学敷地南西角(下鴨本通り沿い)ヒマラヤ杉に恒例のイルミネーションを点灯しました(点灯時間17:00~22:00)。このイルミネーションは保護者会の支援により行われていました。12月6日(月)17:00から、本学南西角において「NDクリスマス大イルミネーション点灯式」が開催されました。点灯式は学長の挨拶に始まり、理事長



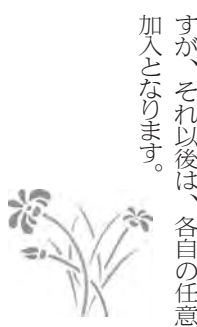
NDクリスマスイルミネーション

の挨拶のあと、四本のヒマラヤ杉に一齐に点灯され、本学合唱団とともに参加者一同でクリスマスソングを合唱しました。カトリックの精神を建学の基礎とする本学ならではの白一色に輝くデコレーションが一月の間北山の街を美しく彩りました。

学生教育研究災害傷害保険(学研災)

本学では、全学生を対象に教育研究活動中の災害傷害事故に対応するため「学生教育研究災害傷害保険」に加入しています。保険料は大学が負担しており、その内、通学特約分を保護者会が支援しています。

この保険は、体育の授業中や実験実習中などの正課授業中、またはクラブ活動中等で発生した事故による傷害やキャンパス外であっても大学に届け出ている



学研災

る課外活動中の事故による傷害についても対象となります。また、授業、学校行事、クラブ活動参加のための通学中の事故にも保険金が給付されます。卒業年度の3月31日まで(学部生は4年間、院生は2年間)有効ですが、それ以後は、各自の任意加入となります。